

通訳案内士研修の高度化に係る検討会(総括)

★検討委員からの主な意見(第1回検討会(平成22年11月16日)、第2回検討会(平成23年2月6日))

(専門性研修への意見)

- 個人で勉強したり、下見のできない場所での研修を国で実施すべき。
- 通訳案内士団体、行政、旅行業界が連携して実施すべき。
- 大多数の座学講義よりも少人数での実務的な研修(実際の通訳案内業務でのOJT等)が効果的。
- 1日の研修よりも複数日で実施すべき。
- 分野別、レベル別で受講者を選別する必要がある。
- 少数派である若年層、地方在住、特殊言語について考慮すべき。

(その他)

- 通訳案内士自らが自己研鑽する必要がある。
- 研修については国、通訳案内士団体、教育機関での役割分担を明確化するべき。

◎次年度は以上の意見や経済効果等を鑑み、実践的な内容による専門性研修事業を予定

【実施案】

- ・テーマ(ラグジュアリー、アウトドア、伝統芸能等) …… 再考
- ・開催時期(閑散期である11月～2月)で複数日
- ・少人数(業務経験者)